



































チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		基本理念、会社方針、社是・社訓を掲示し把握している。必要なものは必ず全員で共有を図っている。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守に基づいて決定を行うよう習慣化されている。入社時や朝礼等で法令遵守の重要性に関する教育を行い、従業員への啓発を行っている。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		契約内容や方法について不正がないよう、社長及び社員で必ずチェックしている。										10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社長及び社員相談窓口担当者を任命し取り組んでいる。																16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産権の侵害に抵触しないかを、月1回の会議で話し合い確認しあって、情報発信することを心掛けている。								8.2 8.3	9							16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報を提供して頂く際に、目的外使用をしない体制を構築しており、保管にも厳重な対応をしている。																16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		関係先との打ち合わせ等を通じて、コミュニケーションを図り、業務内容の改善に取り組んでいる。															16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		環境活動や関係先の活動に興味を持ち、特にゴミの分別や削減について意見の交換の場を設け、さらに地球環境や人権侵害等の配慮等、問題意識の共有に取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		社内研修や日々の業務内で後継者の指導・育成に取り組んでおり、スムーズに継承できる準備を進めている。								8	9									17	
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		性別・年齢・障がい・出自等で、雇用や昇進に関し不利益を感じる事がないよう、差別しない体制を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務中の事故防止の観点から、従業員の意見を取り入れ、現場の改善を行っている。(例:気温や状況に応じて休憩回数を増やす等)			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金ガイドラインに沿って、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		個々の家庭事情に考慮し、休暇の相談、有給休暇を取りやすい環境づくりに取り組んでいる。子育てのサポートを行い、子供の病気や行事は気負わず休める体制になっている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		本人の希望する外部研修やセミナーの受講、各種資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		予防接種及び通院の際は、個別に柔軟な対応を行っている。朝礼時に事故の注意喚起及び体調の確認等も行っている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様性を重んじ、業務運営に関し、人種・性別などの違いによる差別的待遇はない。70歳以上の高齢スタッフについては、無理がないように本人の自由出勤としている。資源物の分別作業の一部を就労継続支援A型事業所に委託することで、障がい者の雇用に繋がる取り組みを行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		関係先との打ち合わせに、可能な限りウェブ会議を導入している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●										8	9.1		11	12							
	21	【フライト企業】 ・フライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9		12							


















チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物回収時に分別の細分化を徹底することで、有害物質の把握に繋がり、適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートによりエネルギー使用量を把握し、冷暖房の温度管理や不要な照明の消灯、無駄な水を使用しない等、職場の節電・節水に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートによりCO2排出量を把握し、エコドライブの推進やアイドリング・ストップの指導を行い、CO2の削減に取り組んでいる。エアコンのフィルターを定期的に清掃し節電している。事務所の照明のLED化対策を順次行い、使用エネルギーの削減を実行している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		廃棄物回収時、分別の細分化を徹底することで、リサイクルやリユースに回せる物を増やし、廃棄物を削減する取り組みを行っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		常にリサイクル・リユースを意識し、分別を細分化することで廃棄物を削減する取り組みを行っており、顧客に対して状況に応じた削減提案も行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		車の洗浄ではホースノズルを用いて小まめに水を止める等し、節水に取り組んでいる。又、植木や植物の水やりには、可能な限り雨水の貯水を利用するようにしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		積極的に再生紙の利用に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	昼食提供日のお弁当は、全員同一にせず、個々の申告で完食できる内容で発注し、食べ残し削減に取り組んでいる。本社のヤードで山羊を飼育し、八百屋やスーパー等で今まで廃棄されていたキャベツや人参の葉、農家のくず野菜を飼料としている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	本社入口に花壇を設け、花や野菜の植栽に取り組んでいる。野菜については固有種の種の継承にも取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	ヤードの夜間照明を太陽光蓄電式のLEDセンサーライトへ順次換えている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2

チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		顧客との対話を大切にし、近隣の環境や安全にも配慮したサービス提供を行うことが出来るよう、作業に携わるスタッフに対し教育を行い、意識共有に取り組んでいる。			3.9					9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		本社の玄関(内・外)およびトイレに手すりを設置している。聴覚や視覚が弱い方や、高齢の方でも安心して依頼して頂けるよう、社内研修を行い、柔軟に寄り添える体制を構築している。								9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15	17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	本社の床全て及びトイレの腰壁にも無垢材を使用し、木質化を推進している。							7				12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	関係先からの要請に応じ、貧困世帯への中古家具・家電等の無償譲渡を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		貧困世帯や高齢独居生活者の見守り活動を行っている。食料支援団体やゴミ拾い等のボランティア活動、地域の祭りごとにも積極的に参加し、寄付活動も行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防災ハザードマップを活用し、緊急時の対応について、定期的な確認を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	社内で飼育している山羊のフンを使用した蠟燭を試作した。普通の蠟燭より燃焼時間が長く、牧草の香りがする面白い蠟燭が出来たが、まだまだ改良の余地あるため、改良後、ワークショップなどを検討していく。								9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	県の登録制度をきっかけとして、顧客や関係先、従業員(家族を含む)に対して、SDGsの啓発活動をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17